

まつど議会だより

発行／松戸市議会
編集／広報委員会
千葉県松戸市根本387-5
TEL 047(366)7382



松戸市議会の情報はホームページからもご覧いただけます。(https://www.city.matsudo.chiba.jp/gikai/index.html) 右のQRコードもご利用ください。



第74代副議長
おり 織原まさゆき
正幸



第70代議長
すぎ やま よし ひろ
杉山由祥

議長・副議長よりご挨拶

元日早々に発生した能登半島地震や航空機事故で、お亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げ、被害に遭われた皆さまにお見舞い申し上げます。また震災の救助救出活動や復興支援に当たられる職員・ボランティアの皆さまのご尽力に感謝申し上げます。

この度、令和5年12月定例会におきまして、新たに織原正幸副議長が就任いたしました。私たち両名は互いに協力し、市民福祉の向上のため不断の努力を重ね、最終意思決定機関として、二元代表制の一翼を担う議会内の合意形成を図る調整役として、その職責を全うしてまいります。

また私たち市議会議員は、松戸市の基本的な政策決定、市長その他の執行機関の事務執行の監視と評価、政策提言を行うため、最も多様な民意が反映された合議体です。大型事業などの重要施策が提案されており、市民の皆さまの多様な意見を把握し、社会情勢を踏まえた的確な判断が常に求められていると感じております。今後も時代に応じたふさわしい議会のさらなる実現に向け、鋭意努力してまいりますので、引き続きのご支援・ご協力をお願い申し上げます。

多世代まるごとの居場所づくり

まつどDEつながるステーション

定期開催中!!



“折り紙名人の作品” すごい!



地域共生課
ホームページ

「まつどDEつながるステーション」は、地域の中での孤立を予防し、社会とのつながりをつくることを目指し、地域の皆さまと一緒に多世代が集える場や機会を創出する事業です。

現在は小金、東部、六実六高台、馬橋、明第2西、明第一、小金原、馬橋西、矢切、常盤平、新松戸、五香松飛台の12地区で実行委員会が立ち上がり、人とひと・人と地域がつながれるよう、さまざまな取り組みが進められています。

●問い合わせ先 地域共生課 TEL 047(710)3200

市議会トピックス

●令和5年度松戸市一般会計補正予算（第5・6回）を可決

補正額	第5回	3,292万5千円
	第6回	46億2,015万4千円

※詳細は3面に記載しています。

意見書4件提出

地方自治法第99条の規定により国会および関係行政庁に対し、下記の意見書を提出しました。

- 医療的ケア児の通学支援の実施を求める意見書
- 認知症との共生社会の実現を求める意見書
- 医療・介護・障害福祉分野における処遇改善等を求める意見書
- 食品ロス削減への国民運動のさらなる推進を求める意見書

松戸市議会の情報を
ホームページで公開しています

本会議の様子は「インターネット議会中継」でご覧いただけます。



議会中継

松戸市議会 検索



スマートフォン・タブレット用アプリ「マチイロ」を利用して議会だよりを配信しています。アプリは無料でダウンロードできます。詳しくは市ホームページをご覧ください。

12月定例会

令和5年12月定例会を11月30日から12月18日まで開催しました。今定例会では、初日に市長から提出された固定資産評価審査委員の選任議案1件、人権擁護委員候補者の推薦議案1件それぞれに同意しました。

このほか市長から提出された補正予算を含む一般議案16件を、それぞれの委員会において審査しました。

最終日には、これらの案件のほかに市長から提出された追加議案2件、監査委員の選任議案1件、議員提出議案13件を上程し、採決しました。

また副議長選挙、健康福祉常任副委員長、建設経済常任副委員長、議会運営副委員長、庁舎整備に関する特別副委員長の互選を行いました。

(2面に審議結果、3面に委員会の主な質疑を掲載) なお37人の議員が市政に関する一般質問を行いました。

委員会の審査から

12月11日・12日・13日・14日・18日に各委員会を開催し、提出された議案について審査しました。ここではその審査の中での主な質疑・答弁（要点）を掲載します。（審議結果は2面に掲載）

※議案第32号一般会計補正予算の審査で、一部の予算措置理由が認めがたいとして修正案が提出され、採決の結果、多数意見をもって否決されました。

総務財務

常任委員会

議案第32号 令和5年度松戸市一般会計補正予算（第5回）

○ 松戸駅周辺地域活性化事業について、相模台公園南側用地取得を前提に実施する用地測量だが、この用地は新拠点ゾーン南側国

有地へ庁舎移転を行うため取得する予定なのか伺う。
○ 庁舎移転候補地である新拠点ゾーン南側国

有地は、相模台地区土地区画整理事業の土地利用計画では、公益的施設用地と位置付けられている。現時点で土地利用については決定していないが、当該用地を取得し、

交通渋滞、歩行者等の安全対策を講じることは現状の課題解決を図ることに加え、あらゆる公益的施設を整備する上で必要と考えている。

議案第50号 令和5年度松戸市一般会計補正予算（第6回）

○ 放課後児童クラブにおやつ代等の助成を行うこととなった経緯を伺う。

○ 放課後児童クラブ運営事業者とのヒアリングを行い、おやつ代等の高騰に対し、苦慮しながら工夫して対応していると多くの声があった。またおやつは児童の放課後の活動に必要な補食であることから、おやつ代等の高騰分に対する事業者支援を行うこととした。

教育環境

常任委員会

議案第43号 契約の変更について

○ 契約金額の増額の妥当性について、どのように確認しているか伺う。

○ 市立東部小学校屋内体育館新築工事の請負契約について、令和5年5月29日に相手方から1450万円の増額スライド請求があった。この請求日を基準日とし、国の示す労務単価および千葉県積算単価、インフレスライドの運用に関する手引きに準じて市側で積算したところ、スライド額は1239万2600円となった。そのため相手方

との協議により、契約金額3億8309万2600円とした。

議案第47号 指定管理者の指定について（松戸市市民交流会館）

○ 当該指定管理者について、前回の審査と比べ評価が上がった項目を伺う。

○ 今回の評価項目のうち「施設の利用を促進させる具体的な方策は提案されているか」が満点評価であった。利用率の低い屋外運動場の利用率向上の取り組みが提案されていることや、グループ企業の強みを生かしたイベントの開催の提案など、地域貢献への取り組みが、高い評価につながったものと考えている。

健康福祉

常任委員会

議案第42号 松戸市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

○ 家庭的保育事業、事業所内保育事業および居宅訪問型保育事業について、本市での認可の有無と他市での事例は、また実施していない理由および今後実施する予定はあるか伺う。

○ 当該3事業について、公募・認可した経緯はない。他市の事例では、家庭的保育事業は千葉県市川市、船橋市、千葉市が、事業所内

保育事業は市川市のみが、居宅訪問型保育事業は千葉市のみが、実施している。事業所内保育事業は、本市でも実施している小規模保育事業と形態が似ているが、市が利用調整できる児童数が少なく、家庭的保育事業および居宅訪問型事業は、保育士の資格が必須ではない。こうしたことからすると、0〜2歳児の保育需要には小規模保育事業が適切と考えている。現状では待機児童対策等も落ち着き、0〜2歳児の保育需要には量と質の面で十分に対応できている。今後の実施については、総合的な見地から必要性なども含めて検討していきたい。

建設経済

常任委員会

議案第40号 松戸市手数料条例の一部を改正する条例の制定について

○ 現行システムから都市計画道路指導図の写しの交付が可能となり、効率化が図られるとのことだが、今のタイミングでシステムを導入する理由は、もっと早く導入できなかったのか伺う。

○ 現在稼働している都市計画情報閲覧システムは平成22年4月導入であるが、当初から都市計画道路指導図を搭載できなかった理由としては、技術的課題であった。令和4年度地形図を

更新したことにより、このタイミングが最適と判断し、導入することになった。

議案第45号 松戸市道及び市川市道が重複する部分の道路の管理の方法に関する協議について

○ この協議はいつから施行するのかスケジュールについて伺う。

○ スケジュールとしては、具体的な内容について協議を重ね、6年4月1日に協定を締結し、施行を目指すとしている。

○ 近隣の他自治体は、このような協定を結んでいるのか。

○ 東京都葛飾区と足立区に重複路線についての管理協定を結んだものがある。

一般質問

12月定例会では、12月1日・4日・5日・6日・7日の5日間にわたり、37人の議員が市政に関する一般質問を行いました。その中から、主な質問と答弁の内容をお知らせします。

※議長・副議長および議会選出監査委員は、一般質問を行っておりません。

重要土地等調査法について

まつどみらい

岡本 優子

○ 重要土地等調査法の施行により、本市の何世帯が対象となるか。また注視区域の指定について、土地の所有者に対しての周知方法を伺う。

○ 対象となる世帯数を正確に抽出することは困難だが、少

しでも区域にかかっている町字も全て含めると、令和5年10月末日現在で、およそ2万5千世帯である。注視区域の指定についての周知は、内閣府によると区域内の各世帯へ個別に通知を出す予定はないとのことである。本市としては、国からの協力依頼に基づき、制度の概要をまとめたリーフレットを支所等へ置くことや、広報まつどや市ホームページへの掲載を行うことにより広く周知を図っていききたい。

ユニバーサルシートについて

無所属

湯浅 文

○ 令和4年12月定例会の一般質問において、ユニバーサルシートについて普及に努めるとの答弁だったが、現状を伺う。

○ 現在、健康福祉会館や市民会館など複数箇所に設置しており、5年6月からはホームペ

ージに設置施設一覧を掲載し周知を図っている。また必要とする方が来庁された際に困ることがないようまずは、市役所本館1階「みんなのトイレ」内を具体的な設置場所として検討を進めており、設置の際は、スミーズに利用できるよう表示板を設置するなど工夫していく。今後も新たな設置場所の検討を継続するとともに普及に努めていく。



ユニバーサルシート

シェアサイクルの導入 について

公明党

伊東 英一

問 シェアサイクルは千葉県市川市や船橋市等で導入しており、本市でも導入が可能ではないかと考えるが、見解を伺う。

答 シェアサイクルは公共交通の補完等、公共性を有する交通手段の特性があるだけでなく、

生活利便性向上や地域活性化等、社会的課題の解決につながる効果も期待されている。本市では市営駐輪場、公園などの市が管理する施設を中心に令和6年度早々にもサイクルポートの設置準備を進めているが、導入後も他の市有施設や民間の商業施設等への設置を拡大していくことが重要となる。移動手段の選択肢を増やし「誰もが楽しく快適に移動できる都市」となるよう、積極的に導入を進めていきたい。

子育て支援について

市民クラブ

広瀬 優斗

問 妊産婦向けタクシー利用料補助について、より一層の支援拡充をしていく必要があると考えるが、本市の見解を伺う。

答 本市の妊産婦タクシー利用料補助では、妊婦健診の受診や出産に伴う入院の際等に、

自宅と産科医療機関往復時のタクシー利用料金の補助をしている。本事業に対し、出産に至らなかった際や、突然の出血等緊急時および子どもの1カ月健診も助成を求める意見がある。こうした意見を踏まえ、出産前後にこれまで以上に、より安全安心に産科医療機関を受診し、出産を迎えられるよう今後は助成要件の拡大等について早急に推進していきたい。



市民の安全な道路交通 について

無所属

山中 啓之

問 市が設置する黄色い縦長の交通安全看板と呼ばれる標識は、現在市内に何枚あるか。また新松戸一丁目にある第3北小金ガード交差点の右折ルールが変更されたが、警察等との連携と市民への周知方法を伺う。

答 交通安全看板の枚数や表示内容を全て把握はできていないが、平成20年度以降に95種類、3209枚を設置している。また既設の交通規制を警察主導で変更する場合、案件が全て事前に情報提供されるわけではないが、申し入れにより今後は事前の情報提供が了承された。当該交差点の規制変更は、現地状況を踏まえ周知方法を検討するとともに、警察官の交通指導等を継続するよう警察に依頼した。

スポーツと健康、市民交流 について

市民クラブ

西田 善昭

問 生涯スポーツやパラスポーツの参加者が一堂に会し、スポーツの魅力体験してもらうイベントの開催について伺う。

答 さまざまな生涯スポーツ、パラスポーツは年齢や性別、障害の有無にかかわらず、誰もが

親しむことができるスポーツであり、現在、関係団体と共に積極的に推進している。令和6年2月には、障害のある方も気軽に参加できる生涯スポーツとパラスポーツの一体的なイベントを初めて開催する。6年度は、こうしたイベントをさらに拡大、充実する方向で検討していく。今後も引き続き関係団体等と連携を図りながら、誰もが生涯スポーツを楽しめる環境づくりを進めていく。

市立中学校の修学旅行費 について

政策実現フォーラム・市民

増田 薫

問 修学旅行費については、就学援助等の対象になっている世帯等も現状一度支払う仕組みである。就学援助世帯への支給までの期間を短くするための改善を図ることはできたか伺う。

答 就学援助費の申請から支

給までの事務手続きは、これまで一部を学校で行ってきたが、令和5年度より保護者と教育委員会直接手続きを行う方法に改めた。その結果、中学校の修学旅行費は、例年2月頃行ってきた支給を、7月から始めることができ、以前よりも7カ月早めることができた。修学旅行にかかる費用の保護者負担軽減に向けて、就学援助受給世帯に対し、速やかな支給ができるよう引き続き取り組んでいく。

白井聖地公園について

公明党

井出 昌子

問 松戸市営白井聖地公園の高台にある第3-1区に墓参するためには、傾斜がきつい坂を登らなくてはならない。このような急な坂道への対策について本市の見解を伺う。

答 第3-1区は高台にある

ため、園路が坂道であることは認識している。開園当初は使用される方が、園路沿いの四季ごとに変化する景色を觀賞しながら墓参ができること等が魅力であったが、時勢の変化により歩きやすさを求めている現在のニーズにそぐわなくなってきた。現地には高低差等の地形や無余地といった制約があるが、利用者に寄り添った歩きやすく、墓参しやすい環境整備について前向きに検討を進めていく。

市立総合医療センターの 借地について

無所属

鷹野 聡

問 市立総合医療センターの敷地は、多くが借地となっており、今後買い取ることが予想される。借地となっている敷地面積と、その概算の評価額および今後の購入スケジュールを伺う。

答 総合医療センターの敷地

面積は5万9117.91平方メートルであり、そのうち借地面積は4万7381.58平方メートルである。買い取りした場合の概算評価額については、令和4年度に購入した際の鑑定に基づく1平方メートル当たりの単価4万1800円で計算すると約20億円となる。今後の購入予定としては25名の地権者から、相続などに伴い土地の買い取り要望があった場合、予算措置した上で購入を進めていく。

介護ヘルパーについて

公明党

丹呉 顕子

問 介護サービス利用者が増え、多くの介護認定者が在宅介護を希望しているが、介護人材の確保に向け、特に訪問ヘルパーの就労支援推進への取り組みは。また次期計画「いきいき安心プランⅧまっど」策定への取

り組みの方向性を伺う。
答 介護人材確保として、資格に関する研修受講費用の補助や事業者団体・ハローワークと連携した就職相談会等を実施している。次期計画では、これまでの取り組みに加え、国の制度改正で創設される訪問介護と通所介護を組み合わせて提供する複合型サービスの整備も検討する。またタスクシェア対策として、無資格・未経験者向けの専門的な研修なども検討している。

松戸市子ども発達センター について

公明党

鈴木 智明

問 巡回相談の依頼が増えてきている中で、より多くの専門職の確保が必要であると考え、本市の認識を伺う。

答 同センター配置の専門職は、主に同センター内で療育業務に従事する傍ら、幼稚園や保

育園等からの依頼による巡回相談業務も兼ねて従事していることもあり、依頼に対して即時対応できていないことがあることも認識している。対象となる子どもが集団生活を送る上で適切な支援に結びつくよう、保育士等の施設職員のスキルアップに寄与する助言を行い、巡回相談に従事する職員の質の向上に努めるとともに、体制の強化を図るため、専門職の確保についても検討していきたい。

運動公園体育館など
活動拠点の改修について

まっどみらい

田中 睦生

問 機能性向上のための改修について、現状の取り組みおよび課題は。また改修に伴う施設の公式規格に対する考えを伺う。
答 市内4カ所の体育館のうち3カ所がすでに改修済みまたは改修中であり、残る1カ所について

についても早急に行う予定である。今後の課題は一部施設の冷房化対応である。また改修に伴う公式規格への対応については、運動公園陸上競技場が改修により陸上競技連盟の第3種公認となり公式の陸上競技が多数行われている。体育館については、バレーボール等主な室内競技は公式規格を満たしているが、屋外のサッカー等の競技についても今後公式規格に対応できるように競技場の検討を進めていきたい。

政府の総合経済対策への
対応について

公明党

織原 正幸

問 「デフレ完全脱却のための総合経済対策」に盛り込まれた住民税非課税世帯への7万円給付について、本市においても可及的速やかに給付すべきと考えますが、現状での見通しを伺う。
答 内閣府より令和5年夏以

降、3万円を目安に支給した住民税非課税世帯に対し、7万円の追加給付を速やかに執行するよう要請があった。また給付対象世帯は5年12月1日に住民登録のある世帯が目安であることが示された。本市の追加給付の見通しについて、制度の詳細が明らかになってきている状況下において、今後予算の早期執行を進めていきたいと考えており、補正予算案の提出等を含め、現在検討しているところである。

ごみ出しが困難な方への
支援について

公明党

松尾 尚

問 千葉県千葉市等のようにごみ出しが困難な方への支援として、粗大ごみの屋内からの運び出しを市で代行する考えは。
答 本市では屋内からの搬出を希望する方に対し、公益社団法人松戸市シルバー人材センタ

ーやヤマトグループ運営の「ネコサポステーション」を案内している。本市とヤマトグループは各種協定を締結し、官民一体となった取り組みを行っている。「ネコサポステーション」は有料だが、家具の移動等市民の日常生活に密着したサービスを幅広く提供している。今後ごみ出しが困難な方への支援について他の自治体の状況を参考に研究していく。



カーブミラー設置について

まっどみらい

柿沼 光利

問 見通しの悪い区間を車両が安全かつ円滑に走行するため、他の車両や歩行者を確認できるように設けられるカーブミラーについて、設置までのプロセスおよび新設の目安を伺う。
答 カーブミラーは、対向車

を視認しにくいカーブ等で事故を未然に防ぐための補助的役割を担う施設として設置している。市民からの要望や警察等からの相談を受け、現地調査の上、視認性、安全性が向上されると判断した場合に設置する。国道や県道との交差点では、各道路管理者の占有許可が必要であり、私道との交差点では、自己負担での敷地内設置をお願いしている。



地域猫活動について

まっどみらい

石塚 裕

問 本市における地域猫活動の現状を伺う。
答 地域猫活動ボランティアや地域住民が行っている地域猫活動は、地域環境の衛生改善の一つとして欠かせない活動であると認識している。本市の地域

猫支援制度では、猫の不妊去勢手術費用助成制度や、地域猫を一時捕獲する保護器の貸し出し、地域猫活動バッジの貸与を行い、併せて広報周知活動に取り組んできた。地域猫支援制度については、活動の理解が徐々にではあるが浸透し、一定の理解を得られていると認識している。今後も引き続き地域猫活動の理解と普及、活動されている方々への支援となるものの研究、検討を行っていききたいと考えている。

平和大使派遣事業について

公明党

芦田 満春

問 平和大使について事業開始からの人数および活動内容は。また令和7年は終戦80周年だが、広島への派遣など本市の平和事業の取り組みの考えを伺う。
答 平和大使長崎派遣事業では、平成20年度から284人の

中学生を派遣し、学校や松戸市戦没者追悼式等で派遣報告を行い、戦争の悲惨さ、核兵器の恐ろしさ、平和の大切さを伝えていただいている。さらに本年度の平和の集いは、市ホームページでの動画配信を準備している。また令和7年は本市の世界平和都市宣言40周年の節目の年であるため、広島への平和大使派遣も含め、心の中に「平和のとりで」を築いていただけるような記念事業を企画・検討している。

安全・安心なまちづくり
について

公明党

高橋 伸之

問 令和7年度までが期限の緊急防災・減災事業債を活用し、災害時に避難所となる学校体育館への空調整備を急ぐべきと考えますが、本市の見解を伺う。
答 学校体育館は児童生徒の学校生活だけでなく災害時には

避難所となるため、重要性は十分認識している。また昨今の夏の暑さは厳しさを増しており、体育館での授業等は熱中症対策を講じる必要がある。支障が出ている状況である。今後の空調整備については、窓ガラスへの遮熱フィルムや扉の隙間風対策等、省エネルギー化とともに緊急防災・減災事業債を活用しての整備が間に合うよう、実施を検討していく。



宇宙飛行士・山崎直子さんの
功績への顕彰について

立憲民主党

戸張 友子

問 現在の市民会館には、日本人女性2人目の宇宙飛行士であり、松戸市名誉市民の山崎直子さんの写真やパネルが集約されていない。集約すれば多くの人が興味を示し、プラネタリウム利用者の増加にもつながると

思われるため、功績を集約して顕彰するコーナーを整備できないか伺う。
答 山崎直子宇宙飛行士の展示コーナーについては、今後2階ロビーで、現在展示している写真やパネルなどを活用し、さらに教育委員会です所有の新たな資料も加え、山崎直子宇宙飛行士に関する展示の充実を図るだけでなく、他の来館者にもよりわかりやすい展示としていく。

クリーンセンターの
建て替えについて

市民クラブ

石井 勇

問 新焼却施設建設は、当初なかった課題が次々と増え延期された。和名ヶ谷クリーンセンターは修繕しながら5年稼働を延長することとなったが、平成7年運用開始のため緊急停止のリスクを抱えている。不測の事

態が起きた場合の責任や、民間焼却施設に依頼する場合の運搬費用、焼却費用について伺う。
答 和名ヶ谷クリーンセンターの5年稼働延長は、市で判断したもので市の責任で対応する。不測の事態については、近隣市への協力要請を想定している。1年間民間施設で処理する場合、運搬費用の算出は難しいが、焼却費用は千葉県市川市へ委託するための予算から試算すると約4億2700万円である。

新拠点ゾーン南側における「浸水」及び「土砂災害警戒区域等」について

立憲民主党

関根

ジロー

市役所機能再編整備基本構想に、新拠点ゾーン南側周辺道路が現市役所の周辺道路と比較して「深く浸水し、長時間にわたる」のであれば、その事実を記載すべきと思うが、市の見解を伺う。

当該基本構想については、市議会に報告の上、令和5年5月に公表しているところである。当該基本構想において浸水想定の部分については、現本庁舎敷地と、新拠点ゾーン南側について、災害対応の視点から比較を行ったものである。今後、新庁舎整備に向けた検討を進めていく中で、当該基本構想の改訂が必要となった場合は、その情報に関しても、取り込んでいくことを考えている。

終活支援について

公明党

飯箸

公明

終活支援について、家族の有無にかかわらず誰もが安心して生きていき、亡くなった後も尊厳が守られる取り組みが必要と考えるが、市の見解を伺う。

傾向にあると考えられることから、終活課題に関する問題解決の一助となるよう、一部の地域包括支援センターで終活に関する研修を行っている。また令和5年度中にどの世代にも受け入れやすい市民向け終活セミナーを開催する準備を進めている。先進市の事例も参考に、自治体としてどのような取り組みが可能であり効果的か幅広く情報収集に努め、亡くなった後も尊厳が守られる支援を検討していく。

感染症対策について

政策実現フォーラム・市民

DELLI

鼻うがいは新型コロナウイルス感染症予防効果だけでなく、重症化予防効果があることを論文で報告されており、さらに後遺症にも効果が期待できるとのことである。感染予防を訴える際にマスク、換気等と同様に鼻

うがいについても、推奨していただく考えはあるか市の見解を伺う。

令和5年10月に開催したコロナ後遺症講演会において、講師のヒラハタクリニック院長平畑光一先生から、鼻うがいが新型コロナウイルスの感染予防や重症化予防に効果があると説明をいただいた。基本的な感染対策とともに、身近な物でできる予防方法の一つとして、コロナ後遺症講演会の内容と併せ、情報提供していく。

公園設置について

日本共産党

ミール

計恵

公園設置のガイドライン策定と並行し、土地の確保等公園設置の具体的な準備を進めるべきと考えるが、見解を伺う。

保の費用や計画的に整備を行うことが課題である。このため、松戸市みどりの基本計画に沿って公園配置の考え方や優先条件機能分担等を整理したガイドラインを早期に策定していきたい。またガイドライン策定と並行して公園整備を進めるため、借地方式による公園整備、こどもの遊び場の都市公園への編入、生産緑地の活用、さらには公園と同等の機能を有する市民緑地の設置等の検討を行っていく。

人権について

政策実現フォーラム・市民

工藤

鈴子

100年前の関東大震災時の朝鮮人虐殺事件で、本市でも虐殺事件があったことについて市の認識は。また虐殺の背景にある流言飛語がどこから発出され、どういった経緯で自警団が組織されたかを、市史から知

ることができるか伺う。

関東大震災発災後に、本市でも流言飛語により朝鮮人が殺傷される痛ましい事件の記述があることは把握している。また流言飛語がどこから発出されたという経緯で自警団が組織されたかは市史から確認できなかった。震災後の混乱の中とはいえ、奪われてよい命があるはずはない。今後とも一人一人の人権を尊重する社会の構築を目指し、人権啓発に努めていきたい。

教職員の働き方の改善

日本共産党

嶋村

新一

松戸市立学校職員安全衛生委員会の学校視察の成果と課題について伺う。

松戸市立学校職員安全衛生委員会の学校視察による成果については、年間15校に直接伺い、学校の安全衛生の取り組み

について確認することから、各学校が自校の取り組みについて振り返り、改善することにつながっている。課題については、令和4年度と同委員会の協議の中で「安全衛生推進者を中心とした組織の活性化」や「更衣室、休憩室の工夫改善」等が挙げられており、本年度の視察の重点項目としている。さらには教職員自身の環境や働き方の改善についても、より意識できるように働きかけを進めていく。

松戸市七草マラソン大会での交流について

市民クラブ

大塚

健児

松戸市制施行80周年記念第66回松戸市七草マラソン大会において、陸上の機運を高めるためにも市民とさらなる交流を期待するが、本市の見解を伺う。

第66回大会では、昨年度に引き続き本市に活動拠点を置く実業団ロジスティード陸上部の選手を大会に招待している。ロジスティードは本市と連携協定を結んでおり、小学生のかけっこの教室の共催など子どもたちとの交流を行っていた。七草マラソン大会で、一流選手を身近に感じながら走り交流ができることは、子どもたちの将来の希望となり、また地元選手への応援等を通じ、本市の陸上競技の機運の向上にもつながると認識している。

ICT活用教育について

立憲民主党

二階堂

剛

ICT研究指定校に対する市教育委員会の期待する目標は何か。また研究指定校と指定校以外の財政的支援も含めて違いはあるか伺う。

市教育委員会では、小中学校に新しい教育課題への対応等を目的とした研究指定を行い、さまざまな課題解決への研究に取り組んでいただいている。その中で「ICTを活用した効果的な学習指導」を行っている研究指定校には、実践研究の成果を他の小中学校に広めることを期待している。なお研究指定校には財政的支援として、29万円の報償費・消耗品費を給付している。今後も学校からの要望等を把握し、研究を推進できるようにさらなる支援を検討していく。

小中学生の引きこもり対策

市民クラブ

大和山

太郎

児童生徒が不登校になり始めた時の保護者への援助体制はあるか。またあるとすれば、どのような支援があるか伺う。

市立小中学校においては、家庭訪問や放課後登校において、

登校児童生徒の状況に応じた支援を行っている。初期段階の保護者の不安に対しては学校が面談を行い、必要に応じてスクールカウンセラーや本市独自のスクールソーシャルワーカーと相談する機会を設定している。スクールソーシャルワーカーは、福祉面からのフォローに加え、関係機関との連携を図る伴走型の支援を行っている。今後も教職員の研修や不登校支援体制の充実にも努めていく。

歩きやすい歩道等の整備 について

日本共産党

山口 正子

問 市内の歩道幅や段差・傾斜・勾配の解消が必要な現状の把握およびその対策は。また側溝のふたの改善について伺う。

答 本市の歩道整備方針は車道と歩道に段差がないセミフラット形式を基本としているが、

現状は車道より歩道が高くなるマウントアップ形式が多く、車両の出入りのために切り下げる平坦な歩道の幅が狭くなり、歩みにくい場合がある。道路幅員は限りがあり歩道幅は非常に狭いが、平坦な歩道の幅を1m以上確保し、横断勾配は2%以内となるよう整備に努めている。また側溝のふたの破損や隙間は、日常的なパトロールや市民からの要望を受け、現地を確認した上で、適宜修繕を実施している。

八ヶ崎市営住宅の今後 について

市民クラブ

大谷 茂範

問 八ヶ崎市営住宅の解体・跡地利用の検討状況と、跡地利活用後においても通行機能が維持されるかについて伺う。

答 地元地区長・町会長から住宅の早期解体に加え、近隣道路について、通行機能確保の要

望をいただいている。市としても当該住宅の解体・跡地利活用について検討を進めてきたが、道路幅員が狭隘であり、閑静な住宅街であることから、周辺住環境への影響を考慮すると低層住宅や街区公園等、限定的な用途での利活用が現実的と思料している。検討に際しては、解体に相応の費用と期間を要する等、課題が多くあることも事実であるが、通行機能の維持を条件に具体的な検討を進めている。

新庁舎整備について

政策実現フォーラム・社民

原 裕二

問 移転候補地購入議案否決後の新たな案は検討中とのことだが①令和5年5月臨時会の議決結果の国に対する報告内容②新たな議案を提案する場合の期限③現地建て替えの検討④新たな案と市役所の位置を定める案

例の提案時期について伺う。
答 ①敷地が狭い等の理由により否決された事実と引き続き土地取得の意向がある旨を報告した②おおむね6年9月頃までと考えている③再検討を行ったが、現時点で実現可能性について課題解消のめどは立っていない④当該議案の予算の見直しは困難である。市議会の意見を伺いながらふさわしい時期等について慎重に判断していきたい。

子育て政策について

市民クラブ

中村 典子

問 神奈川県大磯町では第三の居場所として、小学校登校前に児童を預かってもらえる朝の子ども居場所づくり事業を行っている。本市でも児童の安全を考え、大磯町と同様の事業を実施する考えはないか伺う。

答 登校前の朝の短時間のみの預かりについては、職員確保が困難であることや学校施設を含む施設状況等が異なること等、児童の安全を確保する上で大きな課題がある。保護者から同様の問い合わせ等があった場合は、まっどファミリー・サポート・センターの活用等、他のサービスの案内をしている。今後も児童の安全で安心な場所の確保等、課題やバランスを勘案しながら支援策の研究をしていく。

地域の課題について

市民クラブ

渋谷 剛士

問 街路樹の多い小金原地域の道路清掃の現状について伺う。

答 本市では年間を通して路面清掃車を用いた道路清掃を行っており、令和4年度の実績は約5270キロメートル実施した。小金原地域の道路清掃につ

いては、街路樹が特に多い地域と認識しており、落ち葉の多い時期には、週1回清掃が実施できるよう努めている。また市民や町会などから要望をいただいた場合、路面清掃車とは別に、人力による個別の対応を行っている。この他に台風や大雨が予想される場合には、排水機能を確保するため、事前に道路パトロールを実施し、適宜道路面や側溝に堆積している落ち葉の清掃を行っている。

消費税増税分の使途 について

日本共産党

宇津野 史行

問 政府は「消費税増税分は全額社会保障に使う」と宣言し消費税増税に踏み切った。この増税分は市の歳入では、地方消費税交付金と地方交付税交付金の増となる。地方消費税分は社会保障4分野に使った報告書も

必要だが、地方交付税分はその使途が定められていない。消費税増税分を全額社会保障に使う制度上の保証はないという理解でよいか、市の認識を伺う。
答 消費税は使用規定がある一方、地方交付税は使途を制限してはならないと規定されている。本市では、国からのそれぞれの交付金より社会保障経費の本市負担分が上回るため、社会保障経費として消費税増税分を活用していると認識している。

新型コロナワクチン接種 について

無所属

鳴原 舞

問 接種後の副反応に係る市ホームページへの記載の経緯について伺う。

答 令和5年秋開始接種では、オミクロン株XBB・1・5対応のワクチンが採用され、初回接種を完了した全ての人が対象

となった。より多くの人に接種の機会が与えられるため、いずれの人も接種のメリット・デメリットをよく理解した上で接種する必要はある。また厚生労働省の審査会が認定した健康被害の報道があり、ワクチンの効果だけでなく、副反応に関する情報をさらに強調することが必要だと考え、新しいワクチンの情報とともにホームページの上部に記載した。



新型コロナウィルスワクチン 接種後の状況について

まっどみらい

大橋 博

問 新型コロナワクチン接種後に死亡報告があったロット番号のワクチンを本市で接種した回数と人数は。また接種後1週間以内に亡くなった方はいるか。

答 本市に予防接種健康被害救済申請された中で、接種後1

週間以内に死亡された方からの申請件数は6件である。またワクチン接種証明書に記載されているロット番号は、同じ材料・工程・タイミングで製造されたもので、バイアルが分かれていてもロット番号が同じであれば中身も同じである。現在、厚生労働省のホームページに新型コロナワクチン接種後、ロット番号と死亡報告がされていた資料については掲載がなくロット番号を把握することができない。

ちょっと一息 用語解説



会 期

議会が、議決権などの法律上の権限を行使することができる期間のことを言います。議会は、会期ごとに独立の存在として活動していて、一つの会期とその後の会期に継続性はありません。このため、会期中に議決できなかった議案等は、会期終了とともに消滅します。ただし、例外として委員会における閉会中の継続審査があります。

継続審査

会期中に議決できなかった議案等について、本会議で議決することで、閉会中も引き続き審査することを言います。



3月定例会の開催予定

令和6年松戸市議会3月定例会は、2月22日(木)から3月25日(月)まで、いずれも午前10時より開催する予定です。
 請願・陳情は、2月13日(火) 正午が提出期限です。

日程	主な内容
2月22日(木)	招集日・本会議(施政方針・議案提案理由説明)
26日(月)	各常任委員会(先議議案審査)
29日(木)	本会議(先議議案採決)
3月1日(金)	〃(一般質問)
4日(月)	〃(一般質問)
5日(火)	〃(一般質問・議案質疑)
7日(木)	総務財務常任委員会
8日(金)	健康福祉常任委員会
11日(月)	教育環境常任委員会
12日(火)	建設経済常任委員会
14日(木)	予算審査特別委員会
18日(月)	〃
19日(火)	〃
21日(木)	〃
25日(月)	本会議(議案等の採決)

議会傍聴について
 傍聴についてはお問い合わせいただくかホームページでご確認ください。

●問い合わせ先 市議会事務局庶務課
 TEL 047(366)7381

※このほか随時、委員会が開催される場合があります。
 また開催予定が変更となる場合もありますので、ホームページ等でご確認ください。

人事案件

固定資産評価審査委員会委員の選任および人権擁護委員候補者の推薦に同意しました。(敬称略)

- 固定資産評価審査委員会委員
 たか つ あき ひろ
 高 津 明 宏
- 人権擁護委員候補者
 た なか だて あきら
 田中 館 明

議会選出監査委員

議会選出監査委員に欠員が生じたことに伴い、後任者を選任するための議案が提出され、選任に同意しました。

- 監査委員
 おお たに しげ のり
 大 谷 茂 範

会派別一覧

会派構成に変更がありました。
 松戸市議会では、3人以上で構成する団体を会派としています。

市民クラブ 14人 ◎末松裕人 ○石井勇斗 広瀬優斗 大和山太郎 西田善昭 中村典子※ 大塚健児 大谷茂範 鈴木大介 渋谷剛士 箕輪信矢 杉山由祥 市川恵一 深山能一	公明党 10人 ◎飯箸公明※ ○高橋伸之※ 芦田満春 丹呉顕子 井出昌子 鈴木智明 岩瀬麻理 松尾尚一 伊東英幸 織原正幸	まつどみらい※ 5人 ◎大橋博※ ○石塚裕※ 柿沼光利※ 田中睦生※ 岡本優子※ 政策実現フォーラム・根 4人 ◎原裕二 ○D E L I 増田薫子 工藤鈴子	日本共産党 4人 ◎宇津野史行 ○ミール計恵 嶋村新一 山口正子 立憲民主党 3人 ◎二階堂剛 ○関根ジロー 戸張友子
無所属 湯浅文	無所属 鳴原舞	無所属 鷹野聡※	無所属 山中啓之

議員定数 44人
 (令和5年12月18日現在)

◎ 幹事長 ○ 副幹事長 ※ 新たな会派・幹事長・副幹事長、変更があった議員

声の議会だよりをご利用ください

松戸市障害者福祉センターでは、松戸朗読奉仕会の協力により「議会だよりを音声化したCD」の貸し出しを行っています。

市内在住の障害者手帳(視覚障害)をお持ちの方で、CDの貸し出しをご希望される場合には、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

●問い合わせ先
 松戸市障害者福祉センター
 (ふれあい22内)
 TEL 047(383)7111



編集の窓

能登半島地震により被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。被災地の皆さまの生活が一刻も早く復興されることを願っております。

さて本市では、昨年9月23日から11月12日にかけて、千葉県誕生150周年、松戸市制施行80周年を記念し、開館30周年となる松戸市立博物館において「あの日の「まつど」―写真でふりかえる150年―」が開催されました。デジタル社会が急速に進む中、「写真」から松戸市の歴史に触れることができた本企画展は大変にぎわい、市民の皆さまをはじめ多くの方々に松戸市やふるさとへの想いをはせる良い機会になったかと思えます。また世界情勢においては、複数の地域で紛争が勃発し、さまざまな形で市民の皆さまに影響を及ぼしています。松戸市議会として、世界の平和を願うことはもちろんのこと、市民の皆さまが引き続き安全安心に生活できるよう、議会一丸となって多様化する課題に取り組んでまいります。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



議会だよりの編集を担当しています
 広報委員会

- 委員長 伊東英一
 副委員長 岡本優一
 委員 嶋村新一
 井出昌子
 広瀬優斗
 大和山太郎
 西田善昭
 戸張友子
 中村典子※
 鈴木智明
 工藤鈴子
 ※変更があった委員

次回発行予定は5月1日(水)です